

事務事業調査

平成27年度

事業No	494	課	維持管理課	係	維持係	起案者	杉浦良二
						決裁者	山下孝
事務事業名	交通安全施設整備事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 4 生活安全 3 交通安全 2 交通環境整備 1 安全施設の整備				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		40-10-10			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		市の内部事務事業			
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	有	町内会土木要望								
実施方法	一部委託	委託先								
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	安城市民が				~になる		安全に通行できるようになる。		
事務事業の内容	・交通安全施設（防護柵設置・道路反射鏡設置・道路照明灯設置）の設置等を行うものです。									
改善・対策の履歴	真に必要な施設かよく見極めて、さらに市内全域を同等な取扱いとなるよう配慮します。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	51,412	53,518	53,115	54,102	53,115
財源計	44,608	46,714	46,500	47,487	46,500
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	44,608	46,714	46,500	47,487
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	6,804 (1.08)	6,804 (1.08)	6,615 (1.05)	6,615 (1.05)	6,615 (1.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	防護柵設置工事	見込	500.00	500.00	200.00	500.00
			実績	482.00	177.00	478.00	
	指標名 (単位)	設置延長(m)	活動の総事業費 (千円)	6,825	6,370	9,153	
			活動にかかるコスト (千円)	14.16	35.99	19.15	
活動2	活動名 (活動内容)	道路反射鏡設置工事	見込	32.00	24.00	30.00	32.00
			実績	24.00	31.00	32.00	
	指標名 (単位)	設置箇所(基)	活動の総事業費 (千円)	5,778	7,981	9,981	
			活動にかかるコスト (千円)	240.75	257.45	311.91	
活動3	活動名 (活動内容)	道路照明灯設置工事	見込	6.00	4.00	7.00	7.00
			実績	4.00	7.00	7.00	
	指標名 (単位)	設置箇所(基)	活動の総事業費 (千円)	2,659	5,355	7,188	
			活動にかかるコスト (千円)	664.75	765.00	1,026.86	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	500.00	500.00	200.00	500.00
	防護柵設置延長(単年度)(m)			実績	482.00	177.00	478.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	500.00	達成状況	未達成	未達成	達成
成果2	指標名(単位)			目標	32.00	24.00	31.00	32.00
	道路反射鏡設置基数(単年度)(基)			実績	24.00	31.00	32.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	32.00	達成状況	未達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果
成果
安全対策現場付近を含めた状況把握により、必要とされる安全対策が図られました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト
道路照明灯の支柱を電柱共架型にしてコスト縮減を図りました。電柱共架ができない場所への道路照明灯設置の場合コストが軽減にならないためばらつき年度によってコストにばらつきが生じています。また防護柵設置に関して平成24年度は新設でなく老朽化したビームのみの交換を多く行ったため全体の活動コストが低くなりました。
成果
町内会要望に応えるため防護柵200m、道路反射鏡30基、道路照明灯7基の目標を設定しました。町内要望を精査した結果、防護柵、道路反射鏡、道路照明灯共にほぼ想定どおり実施することができました。成果つきまして、道路反射鏡に関しては要望はあるものの設置基準に合致しないなどの理由で実施できず未達成となる年度があります。

7 所属長の改善案
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
真に必要な施設がよく見極めて、さらに市内全域を同等な取扱いとなるよう配慮します。また、道路照明灯の電柱共架等の工夫でコスト軽減が図れるよう施工方法を良く検討して工事を実施します。

8 方向性
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
維持・継続
交通安全施設の町内会要望に対し適切な対応をすることにより、通行の安全性の確保を図るため、維持・継続とします。

事務事業調書

平成27年度

事業No	478	課	維持管理課	係	維持係	起案者	杉浦良二
						決裁者	山下孝
事務事業名	道路施設維持管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 1 道路 2 道路の維持管理 1 維持管理				予算科目(会計)		一般会計		
					予算科目(款・項・目)		40-10-10		
					総合計画以外の計画				
					関連する総合計画の施策				
					性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	一部委託		委託先		民間企業				
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		道路の利用者が			~になる		いつでも安全で安心して通行できるようになる。	
事務事業の内容	道路の利用者が、いつでも安全に安心して通行できるよう道路を維持管理する工事等を業者発注するものです。								
改善・対策の履歴	道路施設の維持管理は早期に対処することにより、維持管理費も経済的に執行できることから、今後も計画的に進めます。また今年度前半の工事発注により工事期間の平準化を図ると共に入札の低落札率が低くなることを期待することによりコスト削減に努めます。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目		平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費		270,505	251,650	325,223	357,009	275,963
財源計		238,060	219,205	294,353	326,139	245,093
財源の内訳	国庫支出金	0	8,177	23,980	11,550	0
	県支出金	10,905	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	227,155	211,028	270,373	314,589	245,093
受益者負担金		0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)		32,445 (5.15)	32,445 (5.15)	30,870 (4.90)	30,870 (4.90)	30,870 (4.90)
人事課予算分 人件費		0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	舗装補修工事	見込	25,000.00	25,000.00	30,000.00	30,000.00
			実績	42,524.00	31,198.00	36,441.00	
	指標名 (単位)	補修面積 (㎡)	活動の総事業費 (千円)	175,947	169,665	220,399	
			活動にかかるコスト (千円)	4.14	5.44	6.05	
活動2	活動名 (活動内容)	路面清掃委託	見込	155.00	155.00	158.00	159.00
			実績	150.00	158.00	159.00	
	指標名 (単位)	路面清掃延長 (km)	活動の総事業費 (千円)	4,725	5,241	4,606	
			活動にかかるコスト (千円)	31.50	33.17	28.97	
活動3	活動名 (活動内容)	路肩草刈委託	見込	12.00	12.00	12.00	11.00
			実績	12.00	12.00	11.00	
	指標名 (単位)	草刈面積 (ha)	活動の総事業費 (千円)	13,233	14,267	15,732	
			活動にかかるコスト (千円)	1,077.61	1,214.21	1,413.48	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	道路瑕疵事故の件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	1.00	1.00	3.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	道路施設に対する苦情件数/平成20年度から情報提供・要望に対する達成割合(件)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	100.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	町内会土木要望に応じて施工することを基本としているが、職員等のパトロールによって積極的に損傷箇所を発見することにより、市民に快適な道路環境を提供することができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	維持補修工事を数件まとめて発注することにより、経費の縮減に努めました。補正予算を投入するとともに、入札の落札率の低下により、維持管理費が効率よく執行されました。舗装補修工事は場所に適した補修工法を選択するため、これにより年度毎のコストに増減が生じています。路面清掃及び路肩草刈の業務について、各年度の落札率の変動によりコストに増減が発生しています。
成果	広報で道路の穴凹等の情報提供を求めたことにより、各町内会や市民から多くの情報が寄せられました。市民に道路施設等の維持管理に関心が高まっています。また特に幹線道路の舗装補修を多く進めることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
道路施設の維持管理は早期に対処することにより、維持管理費も経済的に執行できることから、今後も計画的に進めます。また年度前半の工事発注による工事期間の平準化を図り、入札の落札率が低くなることを期待することによってコスト削減に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	本事業は、道路を維持管理する事業であり、常に良好な状態に保持する必要が求められます。このため、今後も常に安全かつ安心して通行できる道路環境の保持のため、維持・継続とします。